

令和2年7月21日

山口県議会議長

柳居 俊学 殿

岩国を守る会”風”



共同代表 南部 博彦 津田 利明

拝啓

コロナ禍が収まりをみせないなか、山口県議会の舵取りに日夜ご腐心のことと拝察致しております。

新聞報道によりますと、山口県議会議員全員の歳費を10%削減し、コロナ対策に充てる計画が進んでいるとのこと、昨今の状況に的確に対応された素晴らしい企画であると感心致した次第です。

さて、去る6月10日、貴職あてに「新型コロナウイルス蔓延下の政務活動費の取り扱いについて」と題する提案を文書により申し上げました。

当方から、文書による回答をとお願ひ致しましたが、7月12日、県議会事務局より電話で、「提案は受け入れられない」との極めて事務的な回答がありました。

回答者は、貴職の了解を得た上で回答していると言及されましたが、歳費の返上をも企画されている貴職の回答にしては、あまりにも紋切り型過ぎて、内部での検討をどこまで実施されたのか疑いたくなるような内容でした。

つきましては、この提案に対する回答を、貴職に面談の上拝受致したくよろしくお願い申し上げます。

公務多忙のさなか恐縮ですが、当方の意図を汲み取りいただき、面会の機会を与えていただきますようお願い申し上げます。

なお、面談の時間は、1時間以内と考えておりますので、時間、場所等を指定して頂ければ、どこへでも参上いたします。

参考までに、6月10日の提案書を添付いたします。

敬具

(追伸)

もし、面会が叶えられない場合は、貴職が押印された正式な回答書を文書で送付するよう担当の職員にご指示ください。 よろしくお願ひ申し上げます。